

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月4日から開催される第4回七飯町議会定例会において、次のとおり
一般質問をする旨、各議員から通告がありましたので、通知いたします。

令和 5 年 1 2 月 4 日

七飯町長 杉 原 太 殿

七飯町議会議長 木 下 敏

目 次

質 問 者	質 問 事 項	ページ
1. 平 松 俊 一	大中山小学校の校舎施設と周辺の交通規制について	1
	町立学校や公共施設の冷暖房等について	3
	既設公共施設建設工事等で発生した問題解決について	4
2. 上 野 武 彦	七飯町の医療体制の維持を	5
	自衛隊への個人情報提供問題について	5
	福祉灯油助成事業について	6
3. 中 川 友 規	第5次七飯町総合計画の進捗状況等について	7
	独居高齢者の熱中症対策について	8
	除雪排雪対策について	9
4. 稲 垣 明 美	地域おこし協力隊の状況について	10

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
1. 平 松 俊 一	1	<p>大中山小学校の校舎施設と周辺の交通規制について</p> <p>大中山小学校は平成 30 年（2018 年）に最終工事を完了し、現校舎は使用を開始してから 5 年以上を経過したところである。</p> <p>建設計画段階では、地域住民の方々にも様々なお考え、ご意見があり、紆余曲折を経てきたが、現在まで子ども達は明るく日々の学校生活を楽しんでいるようで、何よりである。</p> <p>校舎施設に関して暖房費や国道に面した駐車場等について、私は問題を提起してきたが、特別な調査をすることなく、今日に至っている。</p> <p>ところがここに来て、当初の想定とは異なる事象が起こり、また設計されていない施設も確認され、さらに学校駐車場への交通規制が始まった経緯もあるので、以下の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 屋内体育館の一部と渡り廊下の一部の壁にカビが発生し、除湿器を常時運転しているが、効果が現れていないことについて 2. この除湿作業はいつから行われていたのかについて 3. 渡り廊下の外側（グラウンド側）に最終設計に載っていない工作物があり、そこに設置されたポンプが常時運転していることについて 4. 前問のポンプはいつ設置され、なんのために運転されているのかについて 5. 屋内体育館の蓄熱式床暖房システムが地下水の影響を受けていないかについて 6. 屋内体育館の換気システムで吸排気のバランスが取れていない事について 7. 屋内体育館における暖房時の換気について

通告順位 及び質問者	要 旨
	<p>8. 屋内体育館の避難施設としての利用方法について</p> <p>9. 国道に面した学校駐車場の出入り規制を行った経緯について</p> <p>10. 前問と関わる大中山出張所と河川管理道路について</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>2 町立学校や公共施設の冷暖房等について</p> <p>今夏は学校を休校にするほどの高気温が記録され、道内では熱中症で児童が亡くなるという痛ましい事故も発生した。</p> <p>「コンパクトシティ」「ゼロカーボンシティ」など環境保全や循環型社会の構築に向けた活動を行う中で、近郊では学校へエアコンなどを設置する計画が進行している所も多い。</p> <p>七飯町も学校や公共施設に対し、どのような温暖化対策を行なっていくのか検討を迫られており、長寿命化計画とバランスの取れたライフサイクルコストの低減に繋がる本格的な検討を速やかに行う必要がある。</p> <p>そのためには自然由来のランニングコストの少ない方式についても、しっかりとした検討を行う必要があるとの考えをもとに、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湧水や地下水を使つての冷暖房を行い、使用後の余り水を防火水槽やプールなどへ利用することについて 2. 木質系バイオマスボイラーの導入について 3. 今後計画される公共施設の建設や改修を行うに当たり、ライフサイクルコストを検討段階でどのように位置付けし、最終確定させるのかについて

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>既設公共施設建設工事等で発生した問題解決について</p> <p>道の駅「なないろ・ななえ」で改めて発見された地下水処理や浄化槽の処理能力問題、或いはいつ解決するのか全く予想がつかない借地問題。</p> <p>そして、大中山小学校でも地下水処理の問題など、解決することもなく、対応処理に誰が責任を負うのかも示されないまま時間が過ぎてきた。</p> <p>掛かる経費は全て、何も責任を負う必要のない町民が負担することは許されない事と考える。これらのことは、その時点で解決していなければならない問題で、新たに発見された事案は我々世代が解決をし、これからの後継世代に引き継ぐべきではないと考え次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道の駅借地料や地下水処理などの諸問題が、解決までに掛かる経費を前町長に請求することについて 2. 今後このような問題が発生した場合、行政改革を執行する立場の町長として、どのように対処するのかについて

通告順位 及び質問者	要 旨	
2. 上野武彦	1	<p>七飯町の医療体制の維持を</p> <p>七飯町内には多数の病院があり町民の健康維持の活動をしているが、この間、大沼地域では内科を主に診察を行っていた個人病院が診療を中止しており、地域の内科の診療に影響が出ている。</p> <p>その後、本町では耳鼻咽喉科、大川では皮膚科を主に診察を行っていた個人病院が相次いで診療を止めている。</p> <p>函館市内の病院に通院するとなると一日がかりの通院となり住民に大きな負担となっている。</p> <p>町として、町民が町内で診療を受けられない状況についてどのように考えているのか、改善する取り組みは考えられないのか伺いたい。</p>
	2	<p>自衛隊への個人情報提供問題について</p> <p>七飯町は、令和2年9月、当時の町長であった中宮町長と自衛隊函館地方協力本部長との間で個人情報に関する覚書を交わし、町内の18才と22才の住民の個人情報の提供を行ってきた。</p> <p>今回町長も代わりその状況の中で、この覚書を継続しさらに個人情報を提供し続けるのか杉原町長の考えを伺いたい。</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>福祉灯油助成事業について</p> <p>七飯町はこれまで非課税の高齢者世帯、非課税の障がい者世帯、非課税のひとり親世帯などを対象に福祉灯油の支給を行ってきたが、助成額は近隣の自治体の中で最低の5,000円の支給だけであった。</p> <p>また、町は、例年50%近くしか申請がないとして、予算も本来の助成対象世帯の50%程度となってきた。</p> <p>来年度の予算化にあたっては、町内のこうした非課税世帯への福祉灯油について、町は支給額の改善をする考えはないか、また、全助成対象世帯への支給をするため努力する考えはないか伺いたい。</p>

通告順位 及び質問者	要 旨	
3. 中川友規	1	<p>第5次七飯町総合計画の進捗状況等について</p> <p>令和5年度七飯町施政方針の中で「各種事業の着実な取り組みを継続するほか、町民待望の図書館とスポーツセンターの基本構想・基本計画に着手してまいります。」と表明され、町民の皆さんも大変喜ばしく、楽しみにしている。</p> <p>現在、図書館・スポーツセンターの関係については、社会教育施設整備検討委員会を設け、町としてのコンセプトや建設場所の選定等の作業を進め、本年度中に町民へ建設候補地が示される予定である。</p> <p>しかし、このような状況の中、今年の猛暑対策の一環として、新たに、子どもたちが安心安全に通えるように、各小中学校への空調設備（エアコン）の整備を進めることになった。</p> <p>また、道の駅なないろ・ななえの地下水処理対策や、合併処理浄化槽の問題発覚により、新たな対策を取らなければならない。さらに、本町地域センターや本町学童保育施設の老朽化問題など、様々な課題に対する対策が必要な状況であると考えます。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第5次七飯町総合計画にある投資的事業の進捗状況について 2. 計画に予定されてなかった新規の追加事業の内容と取り組み状況について 3. 各事業の優先順位について 4. 財源確保の取り組み状況について

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	2	<p>独居高齢者の熱中症対策について</p> <p>今年の七飯町は、今までにない猛暑となり、町民の皆さまも本当に大変な生活環境だったのではないかと思われる。特に高齢者においては、これまでも我慢して暑い夏を乗り切ってきた生活環境のもと、エアコンを設置していないなどのお話も聞かれる。高齢者でも夫婦や家族と同居している場合は、お互いの声掛けなど、注意喚起や暑さ対策を行うことは可能だが、一人暮らしの高齢者は自身の判断を誤ると命に関わることになる。七飯町では人口約27,700人中、約35%の9,700人が65歳以上の高齢者となっている。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内の独居高齢者の件数について 2. 独居高齢者への関わりについて 3. 独居高齢者の熱中症の状況について 4. 独居高齢者に対する熱中症対策について

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>除雪排雪対策について</p> <p>七飯町では、住民の生活を守るため除雪排雪の体制を年々強化し、対策を取ってきたと思われる。また、住民も一緒になってそれぞれ雪かきをして、空地等に雪を運ぶなど、それぞれがその地域でできる対策をしていた。</p> <p>しかしながら、高齢化も進み、雪かき作業自体できる人も減ってしまい、さらには宅地化が進み雪を寄せる空地もなくなり、住宅街など地域によっては、町の排雪頼みになっている状態である。町の除雪排雪体制も町内委託業者の高齢化や、人材不足など大変な状況である。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委託業者の高齢化や人材不足の現状の中で今後の対策について 2. 宅地化が進み、雪を寄せる場所がない現状の対策について 3. 今後の除雪排雪について

通告順位 及び質問者	要 旨	
4. 稲垣明美	1	<p>地域おこし協力隊の状況について</p> <p>2009年に始まった地域おこし協力隊は、毎年隊員数を増やし、2022年度で6,447人の隊員が全国で活動している。</p> <p>地域おこし協力隊は地域によっても変わるが、地域の特産物を活かした商品開発、地域プロジェクトや一次産業など様々な取り組みを行っており、成果を上げている地域も数多くある。</p> <p>2022年度の全国データで、北海道は最も多く、943人であり、2位以下の長野県、福島県を大きく引き離している。</p> <p>また、全国では任期を終えた地域おこし協力隊の方々の約65%が、同じ市町村か近隣市町村に住んでいる。</p> <p>そこで、下記について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の七飯町の地域おこし協力隊の状況について 2. 過去の実績（受け入れ状況について） 3. 地域おこし協力隊の成果について 4. 今後の七飯町の取り組みについて